

むつ市教育プラン (平成29年度～平成33年度)

1 むつ市教育プラン(平成29年度～平成33年度)の目的

「むつ市教育プラン」は、「むつ市教育基本計画」において「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童生徒を育成すること」を学校教育の推進目標とした基本理念に沿い、山積する教育課題に果敢に取り組み、教育基本法に基づく義務教育制度の在り方に、より適切に対応していくことを目的とし、小中一貫教育^{*1}を基本とした具体的指針を明らかにするために、平成19年度の策定から、前・後期5年、計10年間実践されてきました。

本「むつ市教育プラン(平成29年度～平成33年度)」は、前「むつ市教育プラン」の成果と課題を礎とし、山積する新たな教育課題に、より適切に対応していくことを目的に、小中一貫教育を基盤とした具体的方針を明らかにしていくものです。

むつ市教育プラン



むつ市教育委員会

むつ市教育プラン全体像

学校教育推進目標

『知・徳・体』の調和のとれた人間性豊かな児童生徒の育成

めざす児童生徒像

主体的に学ぶ子ども

豊かな心を持ち
思いやりのある子ども

心身ともに健康で
たくましい子ども

基本理念 『生きる力と夢をはぐくむ』学校教育の推進

小中一貫教育の推進

たく ましく 活 力 あ る 学 校	確 かな 学 力 を 身 に 付 け さ せ る 学 校	豊 か な 心 と 健 康 な 体 を 育 て る 学 校	安 全 で 安 心 な 環 境 さ れ る 学 校
<ul style="list-style-type: none"> ① 一貫教育を推進 ② 一貫体制の実現 ③ 連携行事の推進 ④ 経営力の向上 ⑤ 評価システムの活用 ⑥ 前大学教員と連携 	<ul style="list-style-type: none"> ① わかる授業の実践 ② 教員の授業力向上 ③ 児童生徒の学力向上 ④ 家庭学習の習慣化 ⑤ キャリア教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ① 道徳教育、人権教育の推進 ② 体系的活動の推進 ③ 基本的な生活習慣の徹底 ④ さめ細かな教育相談の実施 ⑤ 環境教育の推進 ⑥ 体育・健康に関する指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ① 家庭・地域との連携強化 ② 特別支援教育の充実 ③ 安全対策の推進 ④ 放課後の居場所づくりの充実 ⑤ 学校支援ボランティア制度の推進

■ 平成19年度策定 前「むつ市教育プラン」

2 むつ市の教育の現状と課題

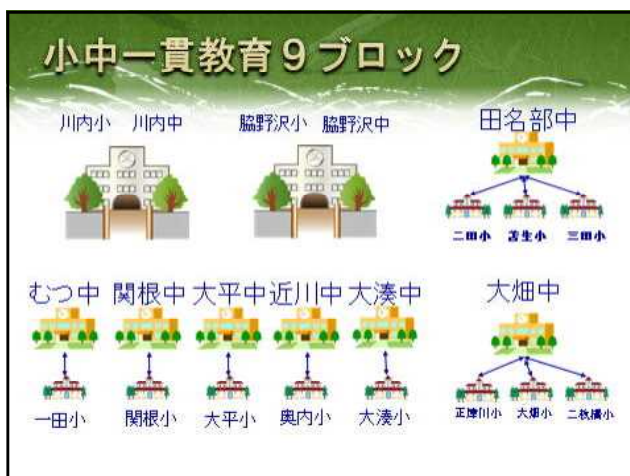
むつ市は、平成16年度の市町村合併によって県内最大の面積を有する自治体となりました。平成19年度には、児童生徒数の減少に伴う学校統廃合や課題となっていた学力の向上、生徒指導上の問題の解決を図るべく、「むつ市教育プラン」を策定し、その実践に取り組んできました。

「むつ市教育プラン」では、むつ市内の小学校・中学校全てを9つのブロック*2に分け、施設一体型*3、施設分離型*4の形態で小中一貫教育を導入することとし、9年間の小・中学校教育課程を前期4年（小1～小4）、中期3年（小5～中1）、後期2年（中2～中3）の4-3-2の区分と捉え、学習指導要領に基づきながらも、それぞれのブロックにおいて、学校、地域の実態に応じて教育活動を工夫・実践し授業の充実、生徒指導連携、行事交流などを通して、中1ギャップ*5の解消に努め、生きる力と夢をはぐくむ学校教育を推進してきました。

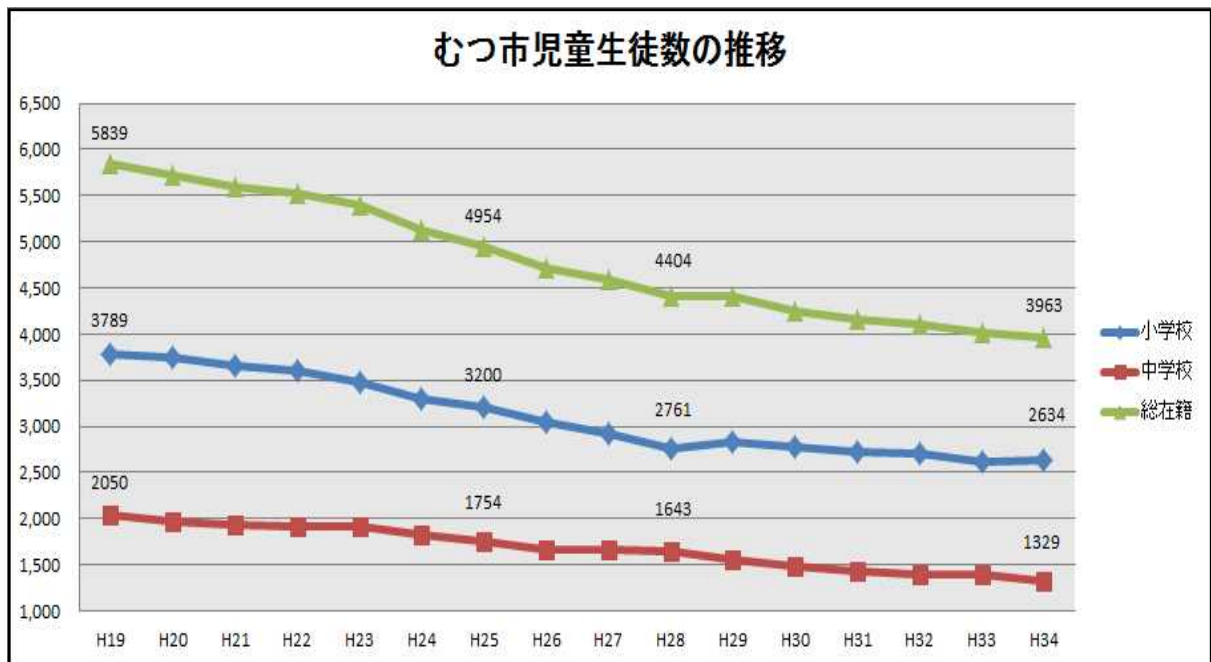
その結果、児童生徒の規範意識や望ましい人間関係の構築に係る意識の向上が認められ、課題となっていた生徒指導上の問題行動やいじめの発件数、不登校児童生徒数が減少傾向に転じました。落ち着いた学校生活環境の中で充実した教育活動が実践されるようになったのに伴って、学力に関しても全国学力・学習状況調査*6、青森県学習状況調査*7等の平均正答率が年次的に向上するなど、大きな成果が認められるようになりました。

しかしながら、児童生徒がこれからのグローバル化の進展や絶え間ない技術革新、少子高齢化や本市のさらなる過疎化等により、大きく変化する社会において、自らの力でたくましく生き抜いていくためには、こうした変化を乗り越え、伝統や文化に立脚し、高い志や意欲を持つ自立した人間として、他者と協働しながら価値の創造に挑み、未来を切り拓（ひら）いていく力を身につけていくことが求められています。

したがって、今後も9ブロックの小中一貫教育を継続しながら、一人一人の可能性をより一層伸ばし、これまでの成果に加えて、新しい時代を生きる上で必要とされる資質・能力を確実にはぐくんでいかなければなりません。



(1) 児童生徒数の推移



平成19年度～平成34年度の児童生徒数調査表（平成28年5月1日現在）より

児童生徒の在籍総数を比較すると、平成28年度5月1日現在が4,404名、6年後の平成34年度には3,963名となり、今後6年間で441名の減少が予想されます。

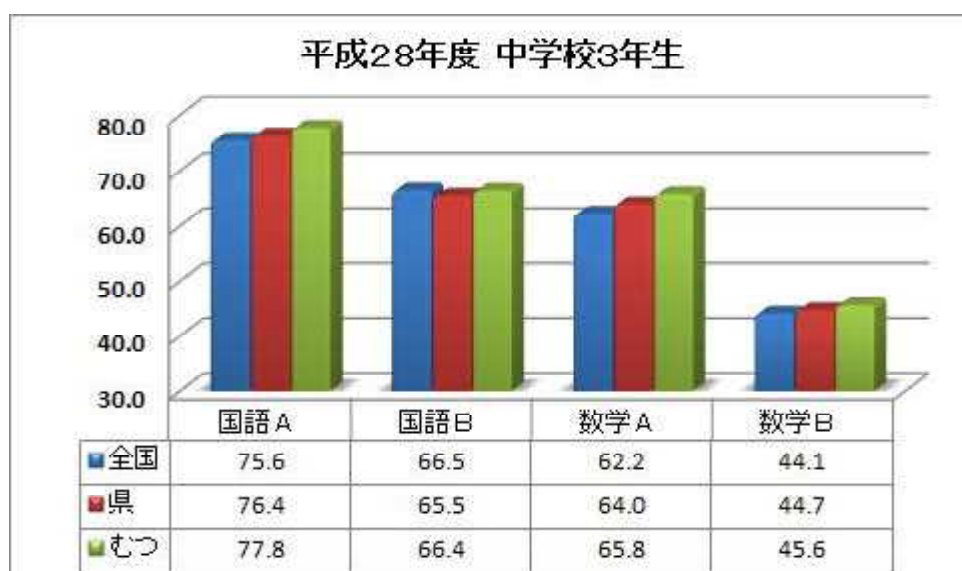
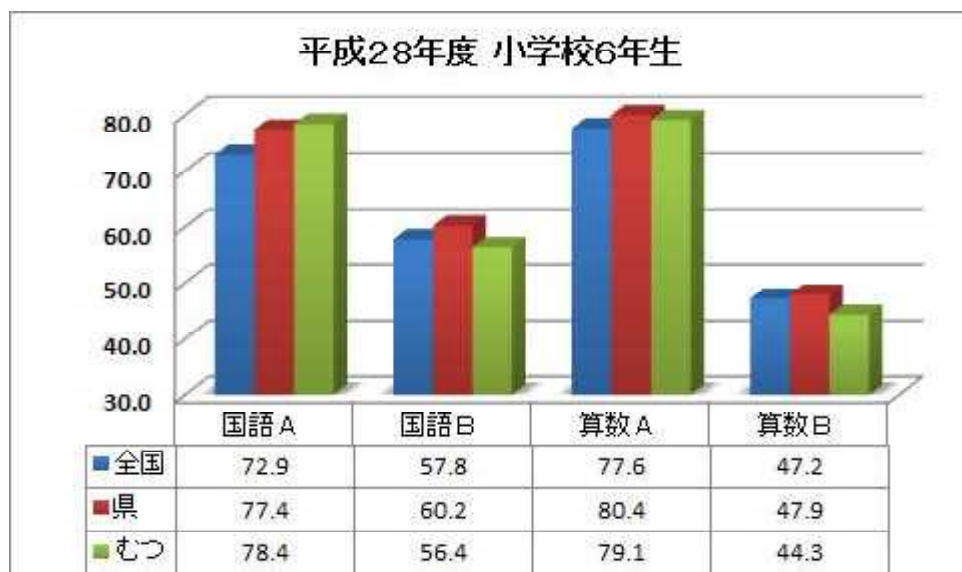
また、平成19年度から平成28年度までの10年間で、1,435名減少しておりますし、平成25年度から平成34年度までの10年間では、991名の減少が予想されます。



■ 二枚橋小学校 平成28年度入学式

(2) 学力の状況

① 平成28年度全国学力・学習状況調査から



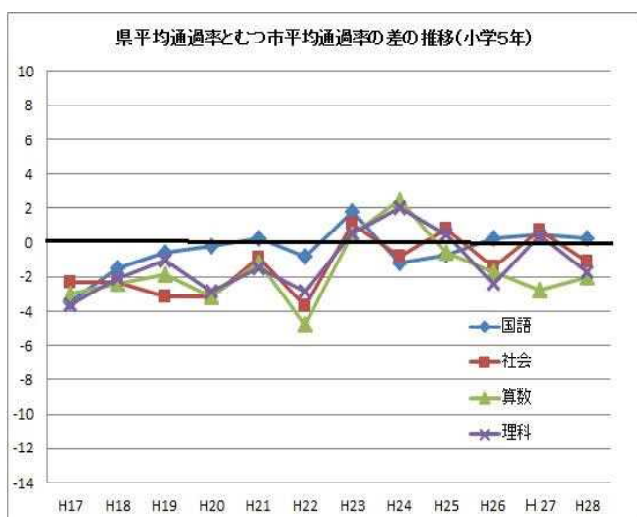
平成28年度全国学力・学習状況調査報告書より

平成28年度の全国学力・学習状況調査は、小学校6年生と中学校3年生を対象に、主として「知識」に関する国語A、算数A・数学Aと、主として「活用」に関する国語B、算数B・数学Bで行われました。

その結果、小学校6年生は国語Aが全国平均・県平均を上回り、算数Aが全国平均を上回りましたが、県平均には届きませんでした。また、国語Bと算数Bは全国平均・県平均に届きませんでした。

中学校3年生は国語A及び数学A、数学Bが全国平均・県平均を上回りました。国語Bは県平均を上回り、全国平均とほぼ同じでした。

② 平成28年度青森県学習状況調査から



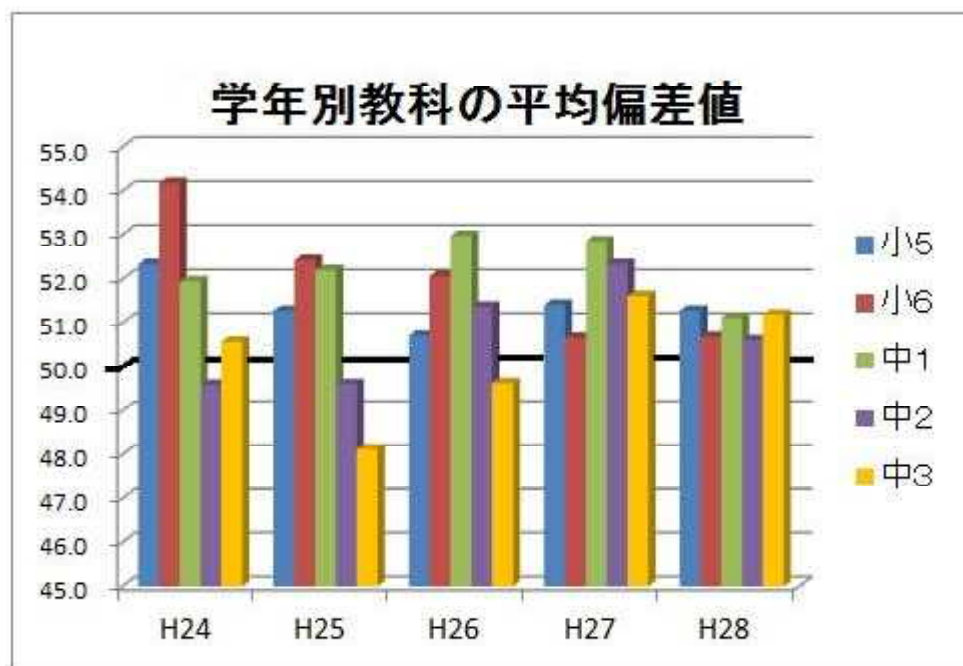
平成28年度県学習状況調査報告書より

青森県では、平成15年度から継続して、小学校5年生には国語、社会、算数、理科の4教科、中学校2年生には国語、社会、数学、理科、英語の5教科の学習状況調査を実施しています。

平成28年度県学習状況調査報告書によると、むつ市と他教育事務所管内・地区別平均通過率*8は、小学校5年生では県平均通過率に届いていませんが、中学校2年生では県平均通過率を上回り、市町村単位でも上位の成績となっています。

このように、教育プラン導入以前(平成18年度)には、県平均通過率と比較したむつ市の中学生の学力の伸び悩み(全教科平均の差-6.26ポイント)が課題となっていました。平成28年度には県平均との差が全教科平均+1.1ポイントに向上するなど、順調な成長が見られるようになってきました。

③ むつ市総合学力調査(ベネッセ総合学力調査)の学年別比較



むつ市総合学力調査(ベネッセ総合学力調査)の結果について、平成24年度～平成28年度の学年別教科の平均偏差値*9はグラフの通りとなっています。

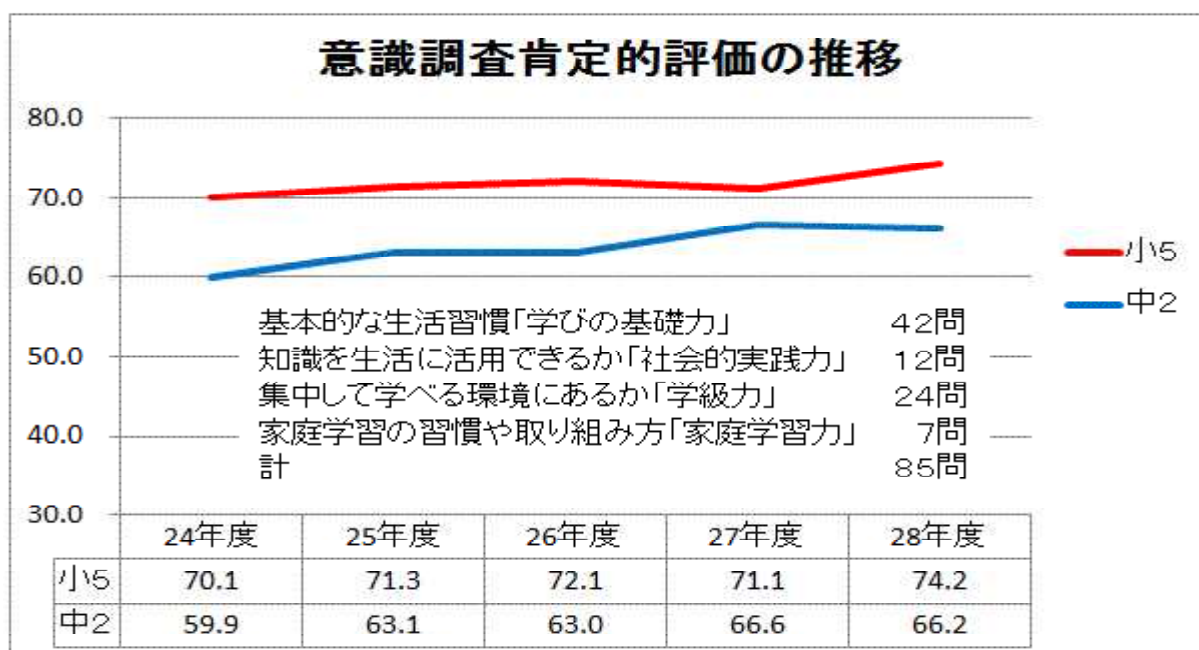
調査は4月に行われ、問題内容は前学年のものでありますので、中学校1年生の結果は小学校6年生の学習定着度を表しています。

平成24年度・25年度当時は、中学校2年生(中学校1年生内容)・3年生(中学2年生内容)の偏差値が他学年と比較して低い傾向となっており中1ギャップの影響がうかがえましたが、平成27年度以降は中学生の偏差値も50を超えるようになり中1ギャップの影響が見られないようになっています。



■ 大平小学校 授業風景

④ むつ市総合学力調査(ベネッセ)の意識調査



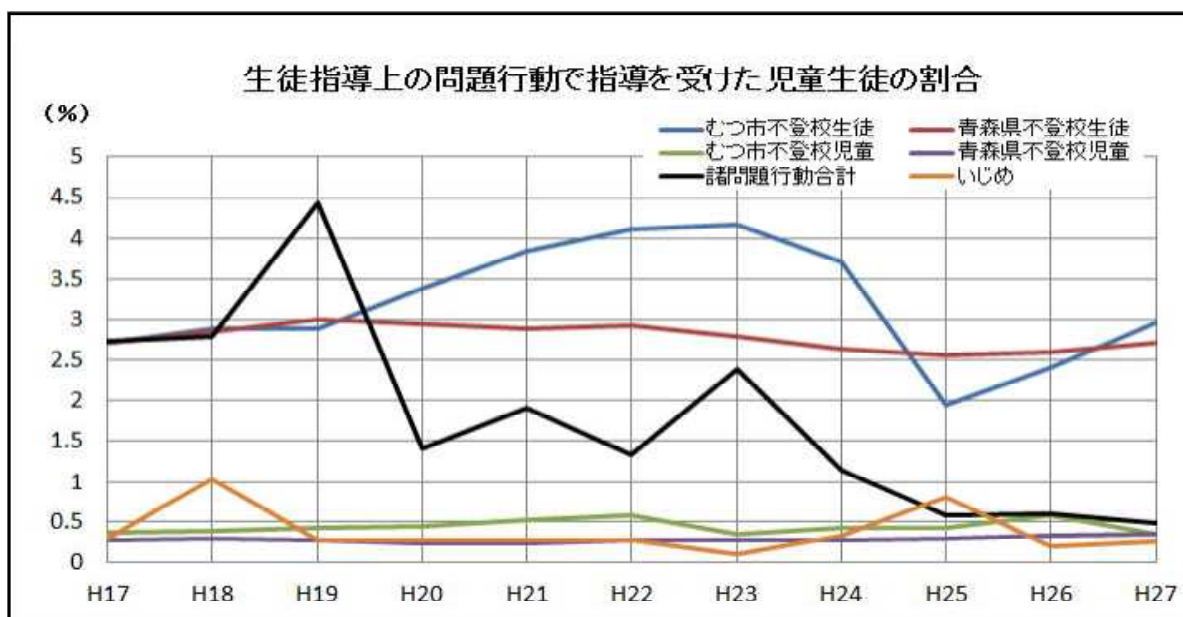
むつ市総合学力調査では、小学校5年生と中学校2年生を対象として意識調査も行われますが、この数値は、基本的な生活習慣を問う「学びの基礎力」、知識を生活に活用できるかを問う「社会的実践力」、集中して学べる環境にあるかを問う「学級力」、家庭学習の習慣や取り組み方を問う「家庭学習力」の4項目で肯定的な回答の値を算出し、平均値を求めたものです。

グラフが示すように、小学校5年生、中学校2年生の値は共に右上がりの傾向にあり、学習に対する意識の向上が定着につながっていることがわかります。



■ 大平中学校 文化祭

(3) 問題行動・いじめ・不登校児童・生徒の割合の推移



「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」より

生徒指導上の問題行動で指導を受けた児童生徒の割合を年度ごとに比較すると、不登校以外の問題行動は、平成19年度をピークにして減少傾向に転じています。この傾向は、主に中学校で表れていることから、小中一貫教育の基に行われる様々な中1ギャップ解消のための取組により、子供達が小学校から中学校に進学しても、新しい環境下の学習や生活に適應しやすくなったためと考えられます。

また、不登校生徒も平成23年度をピークに平成25年度にはその割合を半減させることができました。これも同様に、中学校1年生の不登校生徒数を平成24年度と比較して、平成25年度にはその数を1/4に大きく減少させることができたことが要因となりました。しかし、平成27年度の不登校調査において基準が見直されたことによって再び県平均を上回るようになりました。

一方、不登校児童の発生率は、平成27年度には県平均と同率まで減少させることができましたが、その原因は多岐にわたり複雑化していることも多く、解決の難しい事例が増加しています。

さらに、いじめの未然防止につながる取組を強化していますが、いじめの根絶には至らないのが現状です。

したがって、「いじめはどの子供にも起こり得る、どの子供も被害者にも加害者にもなり得る」という調査結果を踏まえ、「いじめは絶対に許されない行為である」という共通認識を持ち、今後も温かい人間関係づくりを基盤とした学年・学級経営の充実に努めるとともに、小中一貫教育を通じた情報交換・情報共有を密にして、児童生徒に対する指導(働きかけ)が確実に引き継がれるような指導体制づくりを進めて参ります。

(4) むつ市の小中一貫教育の課題

本市の小中一貫教育は、おおむね望ましい効果を上げてきました。しかし、小中一貫教育ブロック事業実施報告書や意識調査等から、今後、小中一貫教育を更に推進・充実させていく上で、特に次の事項を課題として捉えています。

- ・会議・打合せの増加による教員の多忙化
- ・特別支援教育における一層の連携強化
- ・中学校への効果的な乗り入れ授業の在り方
- ・小学校高学年の教科担任制のより一層の充実
- ・小中一貫教育非常勤講師の量的・質的確保
- ・前期・後期の指導の充実
- ・合同行事での中学生の満足度向上
- ・保護者・地域へのさらなる情報提供と共通理解



■ 関根中学校 文化祭

3 教育プランの基本的な考え方と進め方

(1)教育プラン推進目標

「郷土を愛し、夢の実現に向かい主体的に未来を切り拓く人づくり」

(2)教育プランにおける基本的な考え方

教育プランでは、これまでの小中一貫教育で得られた成果と課題を踏まえ継続させながら、変化が激しく将来の予測が困難な時代にあっても、子供たちが自信を持ち、夢の実現に向かい人生を切り拓くために必要な力を確実に育てていくとともに、本市にとって喫緊の課題である少子高齢化、過疎化による地域存続問題を解決するため、将来のむつ市を託せる人材の育成を図るべく、学校、家庭、地域、行政がこれまで以上に連携し、地域や学校の実態に即し「郷土を愛し、夢の実現に向かい主体的に未来を切り拓く人づくり」を目指す教育を推進します。

(3)期 間

教育プランの期間は、平成29年度から平成33年度までの5か年です。

(4)教育プランの進め方

教育プランは、法令や学習指導要領の制度の範囲内で教育課程を編成しつつも、国の小中一貫教育に関する制度化の動向を見据えながら、5か年の年次制をもって進めます。しかしながら、小中一貫教育の推進に当たっては、新教科の創設や指導事項の学年・学校段階間の入替え、移行は実施せず、地域や学校の実態を考慮した「4-3-2の区分」に応じた教育活動の工夫と実践を図ります。

- 苫生小学校 ジオパーク学習
北部海岸ジオサイト



4 教育プランがめざす子供像・学校像

(1)めざす子供像

『郷土を愛し、夢の実現に向けて主体的に未来を切り拓く児童生徒』

- ① 目的を持って主体的に学ぶ子供
- ② 豊かな心を持ち、思いやりのある子供
- ③ 心身ともに健康でたくましい子供

(2)めざす学校像

『郷土に根ざし、生きる力と夢をはぐくむ学校』

- ① 可能性を引き出す学校
- ② 豊かな人間性をはぐくむ学校
- ③ 健康な体をはぐくむ学校
- ④ 地域に信頼される学校



■ 田名部中学校 AIZU塾むつ市ジュニアリーダー交流事業

5 小中一貫教育の進め方

前教育プランで導入された市内全9中学校区(9ブロック)での小中一貫教育の取組により、小学校から中学校への移行期における学習面の不安や人間関係づくりなどの心理的負担、いわゆる中1ギャップの軽減がなされ、一人一人の児童生徒を9年間を通じて順調に成長させることができるようになってきました。

そこで、本教育プランにおいても引き続き、前期－中期－後期(4-3-2の区分)の考え方を踏襲しながら、これまでの実践で効果的あるいは課題であった取組を5つの実践事項とし、その取組については、ブロックの状況に応じて教員の多忙化に配慮しながら重点的に取り組んで参ります。

また、児童生徒、保護者、教職員の意識調査を毎年度実施し、その取組状況、目標達成状況を評価し、新しい課題にも柔軟に対応できるよう、ブロック独自の取組を推進して参ります。

(1)5つの実践事項

① 小中一貫教育体制の充実

- ・ブロック長、校長、小中一貫教育推進コーディネーターの連携強化
- ・小中合同職員会議の開催
- ・中期学級担任連絡協議会^{*10}の開催
- ・特別支援教育における連携強化

② 教職員の指導体制の充実

- ・乗り入れ授業^{*11}の実施
- ・小学校高学年一部教科担任制^{*12}の実施
- ・小中合同研修会の開催
- ・小中一貫教育非常勤講師^{*13}等の活用

■ 脇野沢中学校ブロック 乗り入れ授業



③ 教育課程^{*14}の充実

- ・9年間でめざす教育目標の設定
- ・9年間を見通した教育課程の編成
- ・前期・中期・後期の区分に基づく指導の充実

④ 児童生徒の交流活動の充実

- ・合同行事における交流の促進
- ・学習活動における交流の促進
- ・児童会・生徒会における交流の促進
- ・部活動体験における交流の促進



■ 川内中学校ブロック
小中合同体育祭

■ 田名部中学校ブロック
第三田名部小学校
部活動体験



⑤ アクションプラン^{*15}への取組の充実

- ・各種学習状況調査の活用ときめ細かな指導の充実
- ・より高度な能力を求める児童生徒への指導の充実
- ・思考力・判断力・表現力を向上させる指導の充実
（知識・技能を活用する能力を高める指導の充実）
- ・不登校への対応等、生徒指導上の行動連携の日常化と深化
- ・各学校のいじめ防止基本方針に基づく取組の強化

(2)ブロック独自の取組の推進

同一ブロック内の小・中学校は、目指す子供像の達成のために各ブロックで協議し、教育課程以外の点においても制度の範囲内で、地域や学校の実態に応じた「特色ある教育活動」の実践に努めます。

- ① 家庭・地域への情報提供と共通理解を基に、地域と協働して子供を育てる教育を推進します。



■ 川内小学校 生活科地域インタビュー

- ② 地域の特色を生かした総合的な学習の時間やボランティア活動などの体験的活動、部活動等に異学年集団で取り組むことにより、優しさや慈しみの心情をはぐくみ、人間としての成長を目指します。



■ 近川中学校ブロック 海浜清掃活動

6 教育プラン重点目標

(1)可能性を引き出す学校

重点目標① 小中一貫教育によって、児童生徒一人一人の成長を継続して見守ります。

推進項目

- それぞれのブロックで9年間の教育目標を設定し、系統性を確保した教育課程を編成します。
- 児童生徒の心理的・身体的発達、あるいは行動面の変化などを考慮して、9年間の教育課程を前期－中期－後期（4-3-2）の各区分のねらい、教育内容を十分に吟味した上で編成し、学習活動、生徒指導、特別支援教育^{*16}等の充実に努め、目指す子供像の達成に取り組みます。特に、小学校6学年と中学校1学年の接続期の教育活動については円滑な連携を図ります。

重点目標② 授業の充実を図り、わかる授業を実践します。

推進項目

- 前期（小1～小4）は学級担任制とし、特に小学校入学時の「小1プロブレム」へ対応するため、幼稚園、保育園との連携を推進しスタートカリキュラム^{*17}の充実を図るとともに、読み・書き・計算等の基礎的・基本的な知識・技能の習熟及び学習規律・学習習慣の定着を図ります。
- 中期（小5～中1）の小学校高学年では、学校の実態に応じて一部教科担任制を導入するとともに、習熟度別学習や少人数学習を取り入れ、基礎・基本の徹底と論理的な思考力の育成を図ります。
- 中期では、小・中学校教員相互の乗り入れ授業を行い、専門性の高い指導ときめ細かい指導で、中1ギャップの解消を図ります。
- 後期（中2～中3）には、高等学校等との連携を推進し、将来の進路へ向けて、自らの生き方を探求する力の育成に係る取組の充実を図ります。
- 一人一人の児童生徒にとって、よりわかりやすい指導のためにICT機器の導入を促進し、授業環境を整備します。
- 総合的な学習の時間では、自らの課題解決のために、自ら考え、判断できる能力の育成に努めます。
- 独立行政法人海洋研究開発機構等の外部機関との連携を推進し、理科教育の充実を図ります。

重点目標③ 教員のさらなる授業力向上を図ります。

推進項目

- 小中一貫教育を生かした校内研修の充実を図り、教員の授業力向上を図ります。
- むつ市教育研修センターにおいて、教員のニーズに応えた講座等を開設し、授業改善を図ります。
- 弘前大学教育学部等との連携協定を活用した各教科の授業づくり講座等を開設し、授業力の向上を図ります。

重点目標④ 児童生徒一人一人の学力を向上させます。

推進項目

- 学力検査を実施し、その分析結果を授業改善に生かすとともに、身につけるべき知識・技能の確実な定着を図ります。
- 個に応じた指導方法を工夫し、児童生徒の学習意欲の向上を図ります。
- 児童生徒一人一人に学ぶ目的を理解させ、学ぶ価値ある授業づくりを促進します。

重点目標⑤ 英語教育の充実を図ります。

推進項目

- グローバル社会で生き抜く力を育成するために、外国語活動及び教科としての英語を通して異文化理解を深化させます。
- 英語を使って自らの考えを発信する力を育成するために、外国語活動と英語科の円滑な接続を図るとともに、中学校ではオールイングリッシュ¹⁸の授業づくりを推進します。



■ 苫生小学校 修学旅行でジオパークPR活動

重点目標⑥ キャリア教育の充実を図ります。

推進項目

- 9年間を見通したキャリア教育*19を推進するとともに、地域が抱える課題等を題材として、実践的な課題解決型の学習を展開します。
- 一人一人の社会的・職業的自立に向け、社会の中で自分の果たすべき役割と自分らしい生き方を考えさせる指導を充実させます。



■大湊中学校ブロック キャリア教育「アンドタイム」

重点目標⑦ 特別支援教育の充実を図ります。

推進項目

- 特別支援学級に在籍する児童生徒はもとより、通常学級において特別な配慮を必要とする児童生徒についても、指導体制を充実させます。
- 小・中学校の全教職員が特別支援教育に対する理解を深めるとともに、個々の児童生徒の自立にとって望ましい教育環境が実現するよう連携を図ります。
- 幼稚園、保育園との連携を図り、適切な就学のための教育相談体制の充実を図ります。



■大畑小学校 むつ養護学校と居住地校交流

(2)豊かな人間性をはぐくむ学校

重点目標① 道徳教育と人権教育を推進します。

推進項目

- 9年間の道徳全体計画を作成し、道徳の授業を充実させるとともに、全教育活動を通して、命の大切さ、思いやりの心など、豊かな心の育成に努めます。
- 人権教育を充実させ、他との違いを認め、自分を大切にするとともに他の人の大切さも認められる児童生徒を育成します。

重点目標② 環境教育を推進します。

推進項目

- 身近な環境問題やエネルギー問題に関心を持ち、持続可能な循環型社会の形成に自ら取り組もうとする児童生徒の育成に努めます。
- 学習環境・生活環境としての学校環境に関心を持ち、積極的に美化運動に取り組もうとする児童生徒の育成に努めます。



■ 第一田名部小学校 花と緑のまちづくり

重点目標③ 体験的活動を推進します。

推進項目

- 異年齢集団による、宿泊体験やボランティア活動等への取組を通して、思いやりの心や慈しみの心を育てます。

重点目標④ 基本的な生活習慣を身につけます。

推進項目

- 日常の指導を通して、発達段階に応じた挨拶や礼儀等の規範意識の徹底を図ります。
- 家庭との連携を密にし、望ましい生活習慣の育成を図ります。
- 「早寝早起き朝ご飯」運動を推進します。

重点目標⑤ きめ細かな教育相談を推進します。

推進項目

- 計画的で迅速に対応できる教育相談体制を整え、学級経営を基盤としたきめ細かい教育相談により、児童生徒の心の居場所づくりに努めます。
- 教員と児童生徒の心のつながりを通して、問題行動の未然防止に努めます。

重点目標⑥ いじめの根絶を目指します。

推進項目

- むつ市いじめ防止基本方針に基づいて、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処等の対策を総合的かつ効果的に推進します。
- 各校で定めた「学校いじめ防止基本方針*20」の見直しを図るとともに、「学校いじめ対策委員会*21」等を組織し、校長の強力なリーダーシップのもと、いじめ根絶に向けた対策を推進します。
- 「むつ市中学生いじめ防止宣言書*22」、「いじめを生まない学校づくり提案書*23」を活用し、児童生徒の主体的な企画・運営によるいじめ根絶に向けた取組を推進します。



■大畑中学校ブロック いじめ防止宣言フォーラム

(3)健康な体をはぐくむ学校

重点目標① 安全・防災教育を推進します。

推進項目

- 防犯教室や薬物乱用防止教室などを実施し、安全教育の充実を図ります。
- 自然災害に対する避難や対処についての実効性ある訓練を実施し、状況に応じて自らの命を守る態度を育成する防災教育の充実を図ります。
- 児童生徒の安全を確保するための学校安全計画や危機管理マニュアルを作成し、家庭及び地域との連携を図りながら、迅速な対応ができるようにします。

重点目標② 体育・健康に関する指導を充実させます。

推進項目

- 新体力テスト*24等で、児童生徒の実態を把握し、発達段階に応じた運動能力の向上を図ります。
- 健康な体づくりのために、家庭や地域と連携して運動習慣の形成に努めます。



■ むつ中学校(会場) 防犯綱引き大会

重点目標③ 性に関する指導を充実させます。

推進項目

- 児童生徒の発達段階に応じて、性に関わる正しい知識の指導と性情報への適切な対処に努めます。
- 正しい性差の知識に基づき、男女敬愛精神の育成に努めます。

重点目標④ 食に関する指導を充実させます。

推進項目

- 健康維持のための食の大切さに関する指導計画を作成し、計画的・総合的・継続的な指導に努めます。
- 食生活の中心となる家庭や地域との連携を図るとともに、実情に即した指導に努めます。



■大湊小学校 食生活改善ヘルスアップ教室

重点目標⑤ 保健指導の充実を図ります。

推進項目

- 学校保健計画を作成し、心身の健康の保持・増進に関する指導の充実に努めます。
- 健康診断、健康観察等を基に、心と体の健康状態と課題を的確に把握し、効果的な指導に努めます。

(4)地域に信頼される学校

重点目標① 家庭・地域との連携・協働を推進します。

推進項目

- 教育活動のねらい達成のために、家庭、地域、関係団体との積極的な連携・協働によって、教育活動の充実を図ります。
- 伝統芸能の伝承活動に積極的に参加するなど、地域との連携を深めるとともに、地域の特色及び教育力を生かした教育活動を実践します。
- PTA活動の小中連携を推進することにより、活動の集約化を図り、保護者の負担軽減を図ります。

重点目標② 家庭・地域との情報共有を図ります。

推進項目

- 学校教育目標や重点、教育活動の様子等を積極的に発信し、地域に開かれた学校を目指します。
- 学校評議員制度^{*25}等を活用し、家庭や地域の声を学校経営に反映させます。



■ 関根小学校
水産教室

■ 正津川小学校

生活科・総合的な学習の時間
昔遊び体験



重点目標③ 放課後の居場所づくりの充実を図ります。

推進項目

- 放課後子ども総合プラン*26を推進し、子供たちの居場所づくりに努めます。
- 地域のスポーツ活動を推進し、スポーツ少年団等の総合型地域スポーツクラブ*27との連携充実を目指します。

重点目標④ 地域を学び、地域に貢献する体験活動を充実させます。

推進項目

- 総合的な学習の時間をはじめ全ての教育活動において、機会を捉え地域を学び、地域への愛着と誇りを持たせる活動*28を充実させます。
- 地域から協力を得るだけでなく、地域に貢献できる学校教育を推進します。



■ 奥内小学校
感謝の集い

- 脇野沢中学校
総合的な学習の時間
地域の特産物(ミョウガ)
栽培・収穫・販売体験活動



7 教育プラン全体像

推進目標

「郷土を愛し、夢の実現に向かい主体的に未来を切り拓く人づくり」

めざす子供像

「郷土を愛し、夢の実現に向けて主体的に未来を切り拓く児童生徒」

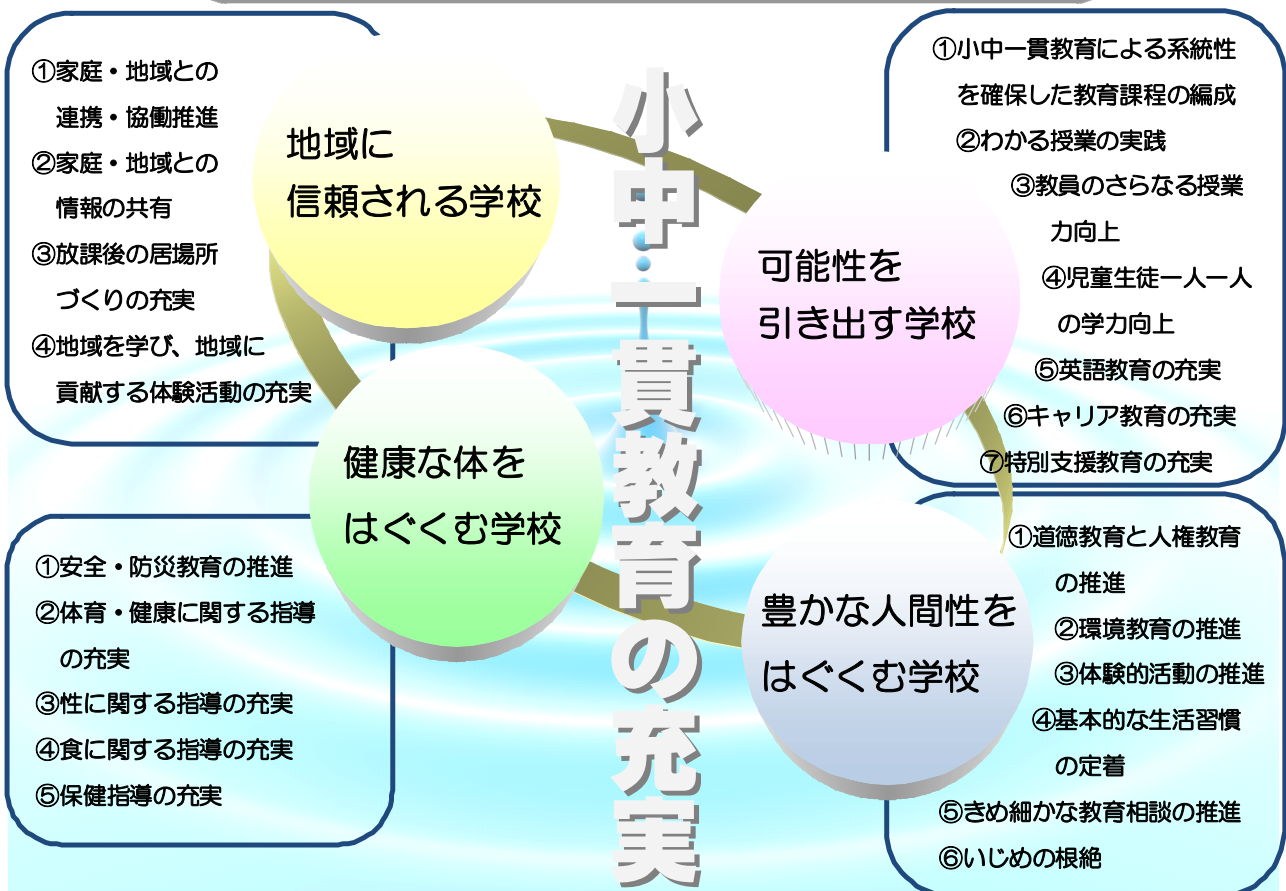
目的を持って
主体的に学ぶ子供

豊かな心を持ち
思いやりのある子供

心身ともに健康で
たくましい子供

めざす学校像

「郷土に根ざし、生きる力と夢をはぐくむ学校」



8 アクションプラン

学力向上アクションプラン

青森県学習状況調査において、平成29年度からの5年間の各教科平均通過率で県平均を3ポイント以上、上回ります。



■大畑中学校 英語科授業

青森県学習状況調査での市・郡ごとのトップは、平均通過率よりも3ポイントほど高いです。新しい教育プランでは、県のトップを目指して学力の向上を図るため、今後の5年間で県平均を3ポイント以上上回る、という新しいアクションプランを設定しました。

不登校児童生徒減少アクションプラン

平成29年度からの5年間の不登校発生率を県平均以下にします。



■むつ中学校 耐久遠足

第一に、不登校が生じないような魅力的な学校づくりに努めます。一方で不登校は、その要因や背景が複雑化・多様化しており、教育の観点のみで捉えて対応することが困難な場合もあるため、学校、家庭、関係機関が連携して一人一人の児童生徒の社会的自立につながるよう支援を図ります。

9 用語解説

P.1

*1 「小中一貫教育」

- … 平成19年度策定のむつ市教育プランで示された9年間の義務教育を一貫した目標と計画で児童生徒を育成しようとする制度。むつ市では先行実施ブロックの研究期間を経て、平成23年度から全9ブロックで完全実施している。平成27年度には法制化された。

P.2

*2 「9ブロック」

- … むつ市内9つの中学校区において小中一貫教育を実施

*3 「施設一体型」

- … 川内中ブロック、脇野沢中ブロックのように、小学校の校舎と中学校の校舎が渡り廊下等で接続されている小中一貫教育の形態

*4 「施設分離型」

- … 距離的に離れている小学校と中学校が教育活動上さまざまな形で協力体制を図り、情報交換などを密にしながら互いに連携して、一貫した教育活動を推進していく形態

*5 「中1ギャップ」

- … 児童が、小学校から中学校への進学において、新しい環境での学習や生活へうまく適応できず、不登校やその他の問題行動につながっていく事態

*6 「全国学力・学習状況調査」

- … 文部科学省が平成19年度から継続して、全国の公立の小学校6年生と中学校3年生の全員を対象として実施している学力テスト。国語と算数・数学の2教科でそれぞれ基礎的な内容のA問題と活用的な内容のB問題の4科目で出題される。また、3年に一度、理科が加わる。

*7 「青森県学習状況調査」

- … 青森県教育委員会が平成15年度から継続して、公立の小学校5年生と中学校2年生の全員を対象として実施している学力テスト。小学校5年生には国語、社会、算数、理科の4教科、中学校2年生には国語、社会、数学、理科、英語の5教科で例年8月下旬に実施される。

P.5

*8 「地区別平均通過率」

- … 地区の教科の全小問の総正答数÷地区の教科の全小問の総解答数×100で求めることができる。

P.6

*9 「平均偏差値」

- … 偏差値は、その値が全体のどのくらいの位置にいるかを示す指標であり平均値は50となる。平均偏差値は、受検した各教科の偏差値を平均したもの

P.12

*10 「中期学級担任連絡協議会」

- … 小5～中1の学級担任等が集まり、児童生徒についての情報交換を行う会議

*11 「乗り入れ授業」

- … 小学校教員が中学生を中学校教員が小学生を教える授業

*12 「一部教科担任制」

- … 小学校で一部の教科を中学校のように専門の教員が教える形態

*13 「小中一貫教育非常勤講師」

- … むつ市独自に採用する非常勤講師。各ブロックに配置し計画的に小学校にも中学校にも勤務する。

P.13

*14 「教育課程」

- … 各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動について、それらの目標やねらいを実現するように、教育の内容を学年段階に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した学校の教育計画

*15 「アクションプラン」

- … むつ市の課題である学力の向上と生徒指導の充実を図るために、成果が確認しやすいように成果指標を設定した行動目標

P.15

*16 「特別支援教育」

- … 障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うこと

*17 「スタートカリキュラム」

- … 小学校に入学した児童がスムーズに学校生活へ適応していけるように編成した第1学年入学当初のカリキュラム

P.16

*18 「オールイングリッシュ」

- … 生徒が英語に触れる機会を充実させるため、英語の授業を実際のコミュニケーションに近い場面とし、生徒の理解の程度に応じながら原則英語を使って授業を行うこと

P.17

*19 「キャリア教育」

- … 児童生徒一人一人にふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度・能力を身につけさせ、望ましい勤労観や職業観を育てる教育

P.19

*20 「学校いじめ防止基本方針」

- … 平成25年9月に施行された「いじめ防止対策推進法」に基づき、各学校でいじめ防止のために策定した方針

*21 「学校いじめ対策委員会」

- … 「いじめ防止対策推進法」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期対応、重大事態への対処をつかさどる校内の組織

*22 「むつ市中学生いじめ防止宣言書」

- … 平成25年11月に開催されたむつ市こども議会において、市内全中学校の代表によって可決された「公正・公平」「信頼・友情」「自他の尊重」「個性の尊重」「思いやり」の五項目からなる宣言書

*23 「いじめを生まない学校づくり提案書」

- … 平成27年11月に開催されたむつ市こども議会において、市内小学生の代表によって可決された「縦のつながりを活発にするための異学年交流」「地域全体でいじめを生まない体制づくり」「いじめゼロ・ネットワークの発足」の三項目からなる提案書

P.20

*24 「新体力テスト」

- … 文部科学省が、国民の体位の変化、スポーツ医・科学の進歩を踏まえて、平成11年度の体力・運動能力調査から導入された調査で毎年実施されている。

P.22

*25 「学校評議員制度」

- … 学校評議員制度は、学校経営への地域住民の参画を保証する仕組みで、平成12年度から各校に置くことができるように法改正された。

P.23

*26 「放課後子ども総合プラン」(平成26年7月31日策定)

- … 文部科学省の「放課後子ども教室推進事業(放課後子ども教室)」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業(なかよし会)」を一体化または連携させて、共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする放課後対策事業

*27 「総合型地域スポーツクラブ」

- … 地域住民が主体となり地域住民のニーズに対応した活動を行うスポーツクラブ

*28 「地域を学び、地域への愛着と誇りを持たせる活動」

- … ジオパークを活用した教育活動に代表されるような地域を学ぶ活動

10 「むつ市教育プラン(平成29年度～平成33年度)」策定経過

平成26年度 小中一貫教育推進委員会

小中一貫教育推進委員名簿

委員長	秋田 晃	田名部中学校ブロック長
委員	橋本 章悦	むつ中学校ブロック長
	蛭名 徳彦	関根中学校ブロック長
	藤田 彰彦	近川中学校ブロック長
	菊池 治夫	大湊中学校ブロック長
	三上 齊	大平中学校ブロック長
	阿部 謙一	川内中学校ブロック長
	野口 広美	大畑中学校ブロック長
	吉田 浩之	脇野沢中学校ブロック長
	寺島 誠	教育委員会 政策推進監・総務課長事務取扱
	室舘 幸一	教育委員会 学校教育課長
オブザーバー	遠島 進	教育委員会 教育長
	古川 俊子	教育委員会 教育部長
	加藤 次男	教育委員会 教育指導監
事務局長	久保田正裕	教育委員会 学校教育課総括主幹
事務局	祐川 文規	教育委員会 学校教育課主任指導主事
	石川 禎大	教育委員会 学校教育課指導主事

日程・内容

6月18日(水) むつ市役所 第1回会議

小中一貫教育の成果と課題について

中期における授業の充実について

11月7日(金) 大湊中学校 第2回会議

小中一貫教育意識調査結果報告

中1ギャップの現状・課題と対策について

行事等の小中交流活動の現状と課題について

大湊中学校ブロック研究発表会

1月30日(金) むつ市役所 第3回会議

新「むつ市教育プラン」(素案)の説明・協議

2月 新「むつ市教育プラン」第一稿 基本構想編 学校配付

平成27年度 小中一貫教育推進委員会

小中一貫教育推進委員名簿

委員 長	秋田 晃	田名部中学校ブロック長
委 員	橋本 章悦	むつ中学校ブロック長
	蛭名 徳彦	関根中学校ブロック長
	中村 聡	近川中学校ブロック長
	関 道雄	大湊中学校ブロック長
	三上 斉	大平中学校ブロック長
	山内 和彦	川内中学校ブロック長
	藤田 彰彦	大畑中学校ブロック長
	吉田 浩之	脇野沢中学校ブロック長
	高杉 俊郎	教育委員会 総務課長
	阿部 謙一	教育委員会 学校教育課長
オブザーバー	遠島 進	教育委員会 教育長
	古川 俊子	教育委員会 教育部長
	寺島 誠	教育委員会 政策推進監
事務局 長	久保田正裕	教育委員会 学校教育課総括主幹
事務局	祐川 文規	教育委員会 学校教育課主任指導主事
	石川 禎大	教育委員会 学校教育課指導主事

日程・内容

7月10日（金）むつ市役所 第1回会議

新「むつ市教育プラン」第二稿本編 説明

11月20日（金）むつ市役所 第2回会議

小中一貫教育意識調査結果報告

新「むつ市教育プラン」第二稿本編 検討

11月25日（水）むつ市役所 第657回むつ市教育委員会 概要説明

12月15日（火）大畑庁舎 総合教育会議 概要説明

2月 2日（火）むつ市役所 第3回会議

新「むつ市教育プラン」第二稿本編 検討

3月 新「むつ市教育プラン」第三稿本編 学校配付

平成28年度 むつ市教育プラン策定会議

むつ市教育プラン策定会議アドバイザー名簿

議長	秋田 晃	前小中一貫教育推進委員会議長
アドバイザー	阿部 謙一	むつ市校長会会長
	室舘 幸一	むつ市校長会副会長
	畑中 ゆかり	県保育連合むつ支部部長
	千葉 栄美	田名部高等学校進路指導主事
	二本柳 信行	むつ市連合PTA会長
	傳法 薫	むつ市連合PTA副会長
	山内 静香	田名部中学校PTA母親委員長
	原 英輔	(有)斗南丘牧場代表取締役
	長岡 俊成	イカす大畑カダル団代表
オブザーバー	遠島 進	教育委員会 教育長
	金澤 寿々子	教育委員会 教育部長
	野藤 賀範	教育委員会 政策推進監
	高杉 俊郎	教育委員会 総務課長
事務局 長	和田 正顕	教育委員会 学校教育課長
事務局	久保田 正裕	教育委員会 学校教育課総括主幹
	祐川 文規	教育委員会 学校教育課主任指導主事
	石川 禎大	教育委員会 学校教育課指導主事

日程・内容

7月 8日(金) むつ市役所 第1回会議

新「むつ市教育プラン」案の説明、質疑、協議
むつ市教育大綱との関連について説明

8月 パブリックコメント募集

9月 21日(水) むつ市役所 第2回会議

新「むつ市教育プラン」修正案の説明、質疑、協議
パブリックコメントの結果と対応について

11月 18日(金) むつ市役所 第3回会議

「むつ市教育プラン(平成29年度～平成33年度)」
の説明、質疑、最終的協議

12月 19日(月) むつ市役所 第672回むつ市教育委員会 説明

1月 11日(水) むつ市役所 指導の方針と重点説明会 説明

3月 「むつ市教育プラン(平成29年度～平成33年度)」制定